

レッツ トライ!



2017年5月11日(木) 多治見市立精華小学校 4年学年通信

火事からくらしを守ろう

社会科の「火事からくらしを守る」の学習を行いました。火事からくらしを守っている消防署を見学して、早く安全に消火する工夫や訓練や防火に努めていることを見学してきました。また、身の回りに消防に関する設備がたくさんあること、消防団をはじめとする地域の協力があることなどを学びました。

そこで、学んだことを家庭や地域の生活につなぐ学習を計画しました。下記のことを参考にして親子で取り組んでいただきたいと思います。取り組んだ内容は、社会科プリントに記入して、5月15日(月)までにもたせてください。このプリントを元にして、「防火新聞」を作っていきます。ご協力よろしくお願いします。

<例①>家の周りの消防施設を調べよう。

家の周り、西坂3丁目の中、自分のマンション全体などと範囲を決めて、消火器、消火栓、防火水槽、避難場所、消防団の倉庫等の消防施設を見付ける。どこに何があるのかを地図にしたり、見付けた数を表にしたり、写真や絵で記録したりする。気がついたことがあれば、メモをする。

<例②>自分の家の中を調べよう。

家の中を探検して、火災の被害を予防したり、最小限にしたりするためのものを見付ける。(消火器、煙探知機、ロック付きやふきこぼれ防止のガスコンロ等。)見付けた物を写真や絵にしたり、使い方や機能を教えていただいたりして、メモをする。

<例③>家の中をチェックしてみよう。

無理なたこ足配線をしていないか、燃えやすい物を外に置いてないか、子どもの手が届くところにライターなどがいないか、…。などを親子でチェックしてみる。もし、たこ足配線が気になる・逃げ道に荷物がたくさん置いてあるなど改善点を発見したら、一緒に改善してみる。チェックしたことや改善したことをメモする。

<例④>インタビューをしてみよう。

消防団で活躍している(経験のある)家族・近所の方に話を聞いてくる。(きっかけ・やりがい・訓練のことなど)料理等で火を使う時に気をつけていることを聞いてくる。そして、メモをしてくる。

<例⑤ 家族会議を開こう>

家族で防火について話す。学校で学んだことを弟や妹に教えてあげたり、家族の体験談を聞いたり、ライターを勝手に使わない等の約束を作ったりするなど、家族で防火について話す。話したことや思ったことをメモする。



火事をおこさないように、ぼくも気をつけよう!